

文化経済学国際セミナー —創造性と都市戦略—

開催趣旨及び概要

創造性を核としたまちづくりの必要がわが国でも強く訴えられるようになってきました。本セミナーでは、文化経済学、文化社会学研究の最先端を走る二人の海外研究者から、文化的アントレプレナーの役割、文化システムと都市政策に関する報告を受け、議論する機会を持ちたいと思います。英語での発表に続き、適宜、簡単な日本語解説をつけていく形式をとります。文化経済学を専門としない方々も、どうぞご参加下さい。

【日時】 2010年7月5日(月) 午後1時～午後4時

【場所】 同志社大学 室町キャンパス 寒梅館6階 大会議室

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

【主催】 同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)創造都市研究プロジェクト
同志社大学ライフリスク研究センター
経済学会

・報告者1: Prof. Arjo Klamer (The Erasmus University Rotterdam)

題目: The Role of the Cultural Entrepreneur in Promoting Culture

・報告者2: Prof. Justin O' Connor (Queensland University of Technology)

題目: Making Creative Ecosystems: Some Challenges for Policy Makers at the Urban Space

モデレーター: 後藤和子 (埼玉大学教授)、河島伸子 (同志社大学教授)

講師紹介

クラマー氏は、アメリカでの研究・教授活動を経て、エラスムス大学に文化経済学の教授として迎えられた方で、Value of Cultureの著作でよく知られます。日本語訳近刊に『経済学は会話である—科学哲学、レトリック、ポストモダン』(日本経済評論社)があります。

オコナー氏は、イギリスのマンチェスター大学でのポピュラー文化の研究を経て、オーストラリアに移住。現職では、文化産業関係の論文等を数多く発表しています。共編著に Creative Economies, Creative Cities, Asian European Perspectives (Springer, 2009)があります。

【参加費】 無料

【お申込み先】 当日申込みも受け付けますが、準備の都合上、メールで事前連絡を頂ければ幸いです。

同志社大学ライフリスク研究センター事務室 (rc-risk@mail.doshisha.ac.jp)

【お問合せ】

同志社大学経済学部 河島伸子 (nkawashi@mail.doshisha.ac.jp)